

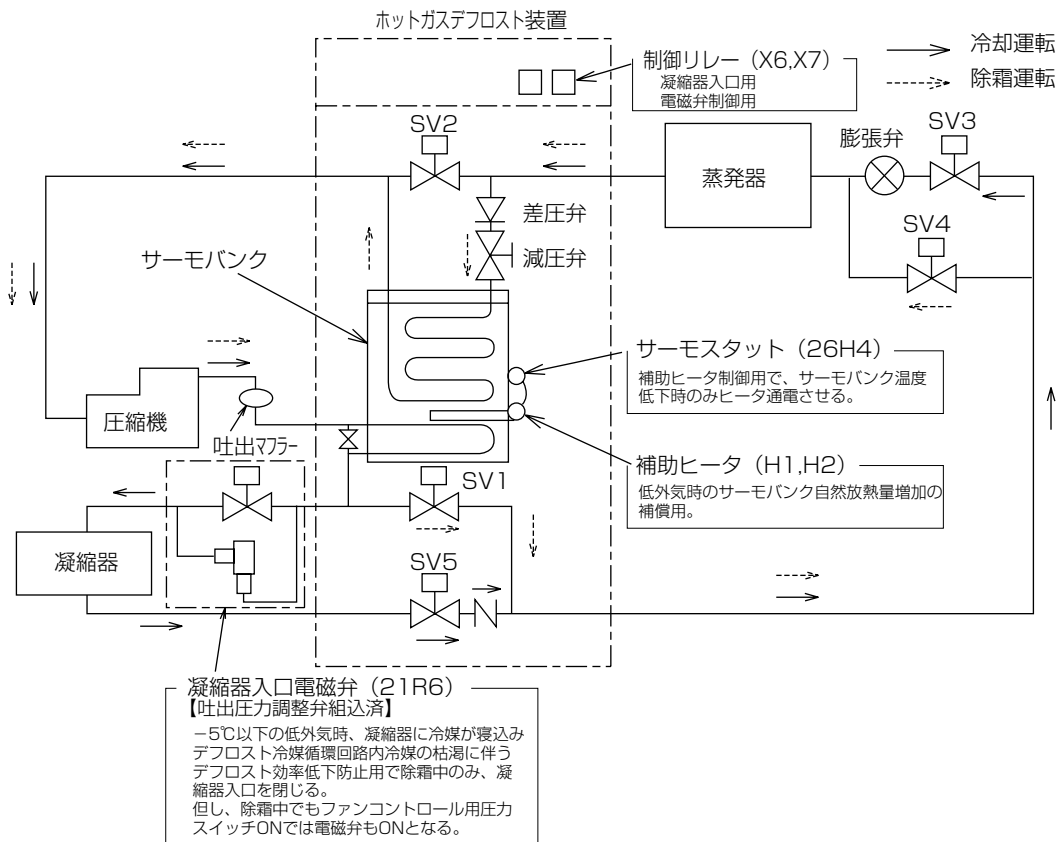
# K-32A、K-38A低外気オプション部品取付説明書

## 1. 部品一覧表

品名	形名	K-32A	K-38A
電磁弁 (吐出圧力調整弁付)		REV2007DXF×1 (BPR-803D)	REV2511DXF×1 (BPR-803D)
補助ヒータ		AC200V 180W×1	AC200V 180W×2
サーモスタット		NGT 04ES-30-1×1	OFF 30℃、ON 20℃
配線セット		1 式	
リレー		LY2F×2	
PTTネジ 4×12		2 個	
タップタイトナベネジ 3×6		4 個	

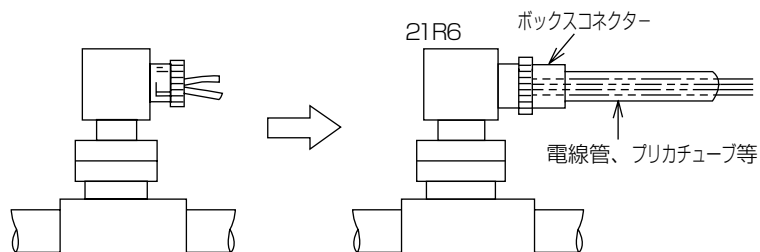
## 2. 取付方法

### 2-1 各機器の取付位置



## 2-2 電磁弁の取付

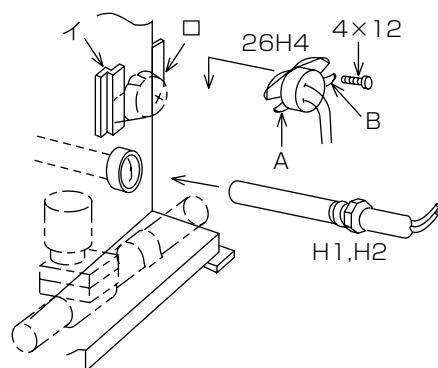
電磁弁は、サーモバンク出口と凝縮器入口の途中に設けてください。尚、コイルはモールドタイプで防水仕様ですが、電線が直接外部に露出しないようボックスコネクタを使用してください。(接続ネジ PF1/2)



## 2-3 ヒータ、サーモスタットの取付

前パネルを外すと、サーモバンク底部にヒータ挿入用ホルダーがありますので、ヒータを取付けてください。(不凍液を抜く必要はありません。)

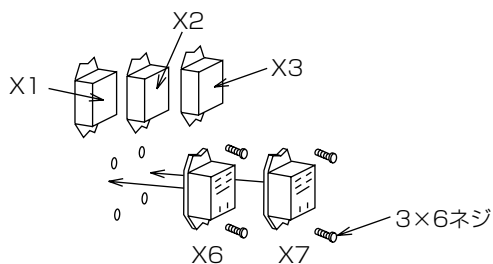
ヒータ取付部上部にサーモ取付板がありますので、下図のように取付けてください。



サーモスタットのA側は、板 (I) のすき間へ入れ、B側を板 (B) にネジ止めします。

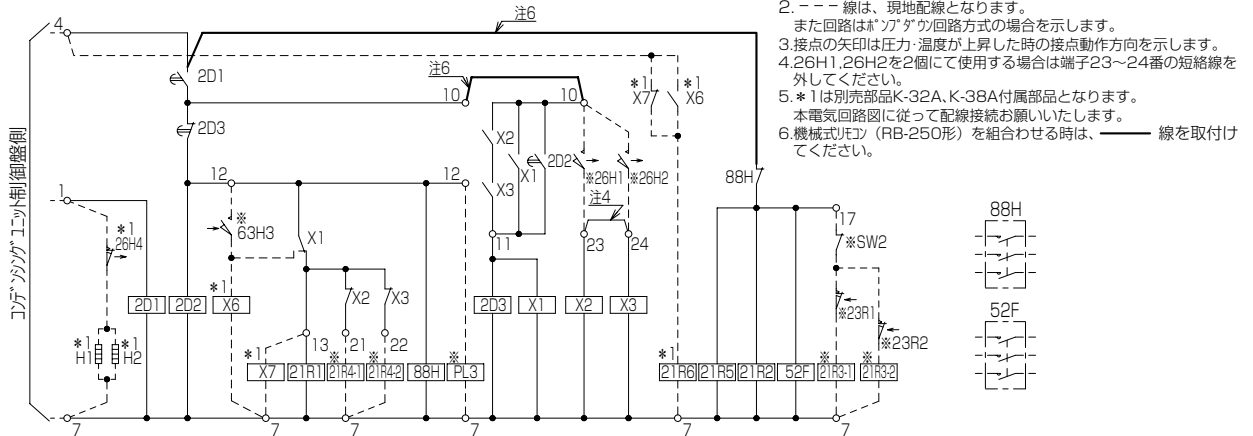
ヒータは、ホルダ内に挿入し、スパナ (22mm) で締めます。

## 2-4 リレーの取付



制御盤内のリレーX1、X2、X3の下側に補助リレー取付穴がありますので、付属のネジで取付けてください。

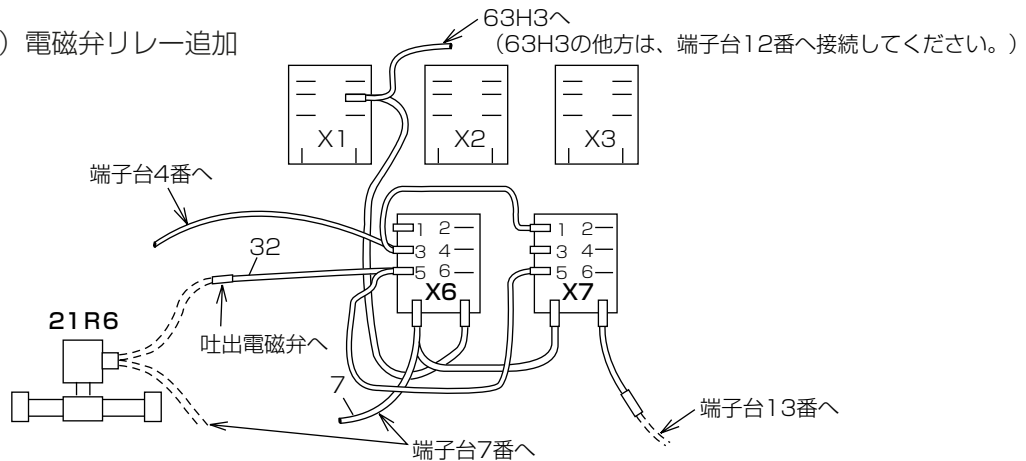
## 2-5 配線図



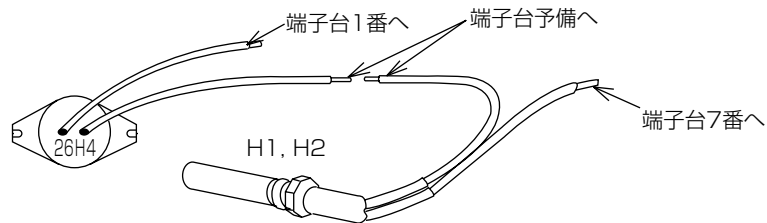
記号	名称	記号	名称	記号	名称
X1~X3	補助継電器	52F	電磁接触器〈冷却器送風機〉	*26H1,2	温度開閉器〈霜取終了〉
2D1	タイムスイッチ〈霜取〉	88H	電磁接触器〈電熱器〉	*63H3	圧力開閉器〈電磁弁吐出制御〉
2D2	限時継電器〈霜取終了〉	*PL3	表示灯〈霜取〉	*1 H1,2	電熱器〈蓄熱槽〉
2D3	限時継電器〈水切り〉	*SW2	スイッチ〈運転-停止ホッパダウ〉	*1 X6,X7	補助継電器
21R1	電磁弁〈吐ガス〉	*21R3-1,2	電磁弁〈液〉	*1 21R6	電磁弁〈吐出〉
21R2	電磁弁〈吸入〉	*21R4-1,2	電磁弁〈冷却器ホッパダウ〉	*1 26H4	温度開閉器〈電熱器〉
21R5	電磁弁〈主液管〉	*23R1,2	温度調節器〈庫内〉		

## 2-6 配線要領

### 1) 電磁弁リレー追加



### 2) ヒータ、サーモ追加



## 2-7 配線終了後、操作回路のみ通电にて動作チェックしてください。

## 3. 現地手配部品

圧縮開閉器 (63H3) を現地にて手配願います。

高圧圧力開閉器 SNS-C130Q1 (サギノミヤ製)

圧力の取出しは、圧縮機の吐出操作弁のサービスポートから行なってください。

### 〈圧力開閉器：63H3の動作について〉

圧力開閉器63H3は霜取運転中に高圧圧力が1.5MPa以下となっている間<低外気運転など>、電磁弁〈吐出〉を閉じて冷媒ガスを冷却器に100%供給し霜取運転時の加熱力を確保します。

また、1.5MPa以上となっている間は電磁弁〈吐出〉を開いて冷媒ガスを凝縮器にも供給しインジェクション用の冷媒を確保します。運転条件によっては設定値を変更する必要がありますので、上表を目安に設定値調整を行ってください。

63H3 再調整の目安 <MPa>

		低外気運転条件 (室外ユニット周囲温度：-5℃以下)	
		有	無
冷蔵	OFF	1.1	0.93
	ON	1.5	1.23
冷凍	OFF	1.1	1.1
	ON	1.5	1.5